※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２２

令和５年度　体育科

教科	体育	科目	スポーツⅠ（男子）	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「スポーツⅠ」で取り上げる測定競技は、それぞれの競技に定められたルールや条件のもとで演技の出来映え、時間、距離及び高さを競い合うといった特性があります。自己に適した目標や課題を適切に設定して練習に取り組み、その課題を解決できるようにしましょう。

2　学習の到達目標

（１）　採点競技及び測定競技の専門的な理解と高度な技能の習得をめざした主体的、合理的、計画的な実践を通して、自己の課題を解決できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を身に付ける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	採点競技及び測定競技の学習に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、互いに助け合い高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、仲間と話し合うなど合意形成に貢献しようとすることができるようにする。また、体調に応じて運動量を調整したり危険を予見し回避行動をとったりすることなどによって、健康・安全を確保し事故防止を図ることができるようにする。	自己の課題を解決するとともに生涯を通して「スポーツⅠ」の振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や練習計画の組み立てなどができるようにする。	採点競技及び測定競技の楽しさや喜びを深く味わうとともに、「スポーツⅠ」の中から自己の能力・適性等に応じて競技を選び、自己の能力を最大限に発揮し専門的な技や技能の習得ができるようにする。	技術や競争における作戦、技、技能や泳法の高め方、合理的な練習法や練習計画の立て方、体力の高め方、課題解決の方法、審判法や競技会などの企画・運営の仕方、初歩的な指導法、運動観察や動作分析の仕方などを理解することができるようにする。
評価方法	受講態度の観察 日誌 レポート 等	受講態度の観察 日誌 レポート 等	技能観察 技能テスト 等	受講態度の観察 日誌 レポート 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

3年次 4,5,6月	採点競技 器械運動	マット運動→前転・後転・開脚前転・伸膝系、倒立前転・後転倒立、側転、 前方倒立回転跳び、後方展開 吊り輪→振り、逆上がり、振りからの後方転回、振り上がり、脚前脚 あん馬→回転系・支持系 平行棒→振り上がり（前・後）、肩倒立、振り飛び降り、けあがり 鉄棒→懸垂・支持回転・振り・振りからのけあがり、振り上がり	○	○	○	○	a:器械運動の学習に積極的に取り組もうとしている。よりよい演技を認めようとしている。仲間の学習を援助しようとしている。 b:学習する技の合理的な動き方のポイントをみつけている。課題に応じて技の習得に適した練習方法を選んでいる。仲間と練習方法について指摘しあっている。 c:マット運動では、回転系や技巧系の技を組み合わせるための基本技や応用技ができる。鉄棒では支持系や懸垂系の技の組み合わせができる。吊り輪では、空中バランスや上半身の筋力や振りをうまく使える。 d:器械運動の特性や成り立ちについて具体例を挙げている。器械運動の特性や成り立ちについて具体例を挙げている。技の名前を理解している。	受講態度の観察 技能観察 記録測定 レポート
3年 6月中旬～9月初旬	水泳	平泳ぎ 立ち泳ぎ 横泳ぎ 顔上げ平泳ぎ	○	○	○	○	a: 各種目の楽しさや、喜び達成感を感じる。 b: 日常的な水泳の技術を理解し生涯にわたり続けられるように、工夫をしている。 c: 効率的な泳ぎ方を理解し実践している。 d: スポーツの歴史や特性について理解を深める。 ルールの理解。	受講態度の観察 技能観察 記録測定 レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断
　　c:運動の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。